

久喜地区担当TAC稲山です。

近年、農作物に危害を及ぼすアライグマやハクビシンについて情報をお伝えします。

ＪＡ南彩管内でも野生のアライグマやハクビシンが急激に増え、農作物被害や屋根裏に住み着く等の被害が見受けられ、今後、被害拡大が心配されます。

アライグマやハクビシンは雑食性で、農作物では特に梨、ぶどう、いちご、とうもろこし等の糖度の高いものを好みます。防除は食物の味を覚えさせないことが大事で、金網柵やネット柵では、侵入を防ぐことができません。毎年被害が出てしまう場合には捕獲檻や電気柵の設置が不可欠です。

また鳥獣保護管理法という法律があり、アライグマやハクビシンを勝手に捕まえたり、駆除をすると、法律で罰せられる可能性があります。捕獲するには必ず行政の捕獲許可が必要で、法律に従った駆除を行います。

ＪＡ南彩では電気柵の販売を行っておりますので、各営農経済センターまでお問合せください。

アライグマとは

- ・原産地：アメリカ、カナダ、メキシコ
- ・頭胴長（頭からおしりまで）：50～70センチメートル
- ・体重：6～10キログラム

凶暴で、鋭い歯を持っています。狂犬病等のウイルスを持っている可能性があるため、むやみに手出しをするのは危険です。



アライグマ



タヌキ



ハクビシン

ハクビシンとは

- ・頭胴長（頭からおしりまで）：50～60センチメートル
- ・尾長：約40センチメートル
- ・体重：2～3キログラム

明治以前から日本での生息が確認されています。

「白鼻芯」の名前のとおり、額から鼻にかけて白い線があり、頬も白いです。